

- 1)建方計画
- 2)在来軸組工法の
- 3)建方作業手順書
- 4)
- 5)
- 6)
- 7)
- 8)
- 9)





1)建方計画

a . 作業資格確認

	職 名	人
大	I	6
職	長	
鳶	I	
移動式クレーン		13t
搬力	∖車両	4t
ガ-	- ドマン	



玉掛け特別教育修了者			
	組立て等作業主任者		
	等作業主任者		
	ン運転士免許		
	レーン運転技能講習 習修了者		

備考

必要資格

b . 安全留意事項

- (1) 道路使用許可条件順守
- (2) スクールゾーンになっ
- (3) 通学時間帯や通勤時間
- (4)工事車両の駐車場所お
- (5)早朝のアイドリングス
- (6)作業開始前に全員で建
- (7) 玉掛用具の点検

c . 木造建築物の組立て等作業

選任	木造建築物の組団	
	第1項第7号に対	
	て又はこれに伴う	
	建築物の組立て領	
	る。	
掲示	木造建築物の組式	
	要はないが、作業	
	掲示する等、関係	
職務	木造建築物の組む	



認等打合せをおこなう。

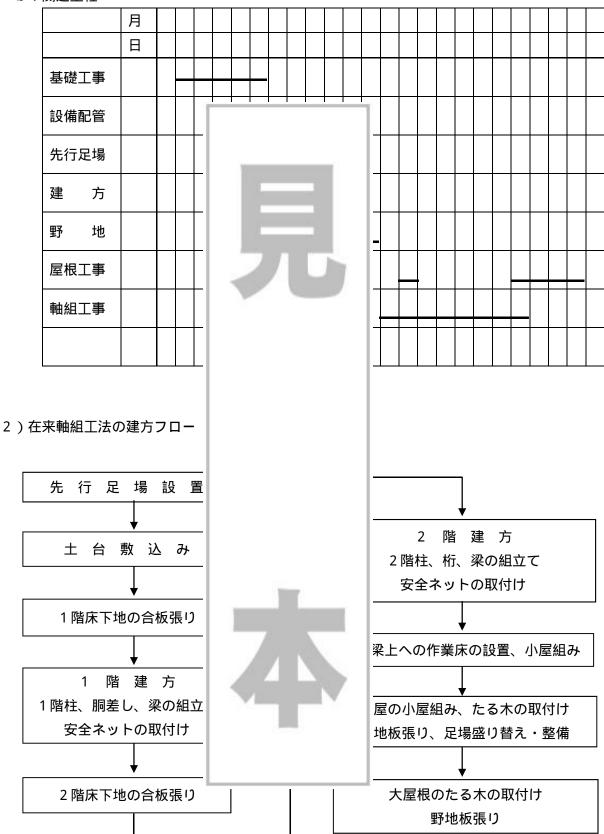
ぐき事業場は、建築基準法施行令第2条 トル以上の木造建築物の構造部材の組立 也の取付けの作業を行う事業場で、木造 了した者のうちから、選任する必要があ

こ場合は、労働基準監督署に届け出る必 うわせる事項を作業場の見やすい箇所に よらない。

計、次の通り。

- 1.作業の方法及び順序を決定し、作業を直接指揮すること。
- 2. 器具、工具、安全帯等及び保護帽の機能を点検し、不良品を取り除くこと。
- 3.安全帯等及び保護帽の使用状況を監視すること。

b . 関連工程



3)建方の作業手順

3) 娃別の作業予順			
1階床の設置	1階軸組み作業の安全性を確保するために1階床(仮床または本床の下地) を玄関、土間(勝手口、浴室等)部分を除き敷き込み固定する。		
		Ĺ	<u> </u>
1 階軸組み建方	内部廻り(は床(仮! 作業に適 行う。		(地盤及び土間コンクリート面、また行い、外部廻りの軸組み作業は、そのてた上でこの先行足場の作業床上から
下屋小屋梁・2階床 梁下の安全ネットの 設置又は2階床の設 置	1階作業i ットを設 込み固定 なお、安: ネット周i	元	ト屋梁下及び2階部分の梁下に安全ネ皆床(仮床または本床の下地)を敷き *※ 深に2メートル以内で確実に固定し、・ル以内とする。
			7
2 階床面への内部昇降設備の設置	先行足場(はしごは. センチメ・		助が困難な場合は、はしごを設置する。 りを施し、上部の突き出し高さを 60
			<u> </u>
2 階軸組み建方	内部廻り(間に作業) 先行足場(なお、脚)		安全ネットを設置した場合は梁と梁の)から行い、外部廻りの軸組み作業は 末は広い面を確保し固定する。
]
2階小屋梁下の安全 ネットの設置	2階床上 金物等で! チメート。	4	梁下に安全ネットを設置する。取付け こ固定し、ネット周辺のあきは 20 セン
			
2階小屋への内部昇降設備の設置	先行足場に		多動が困難な場合は、はしごを設置す



はしごは上部の固定と下部に滑り止めを施し、上部の突き出し高さを 60

センチメートル以上とする。



下屋小屋組み、2階 小屋組み建方 東、母屋等の取付作業は、小屋梁上に作業床(足場板等)をかけ渡し固定 し、その上から行うが、妻側については場合により先行足場の作業床上からも行う。

なお、脚立等を用いる場合は、小屋梁上の作業床は広い面を確保し固定す る。

たる木及び屋根下地 施工 軒先周り(た作業床(屋根勾配; は、屋根)



忍した後、先行足場を軒先作業に適し 乍業に入る。

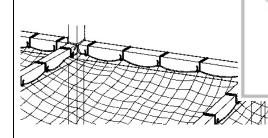
は滑りやすい材料の屋根下地の場合に

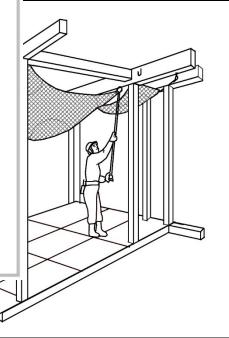


四隅につり綱を取りつけるものとす

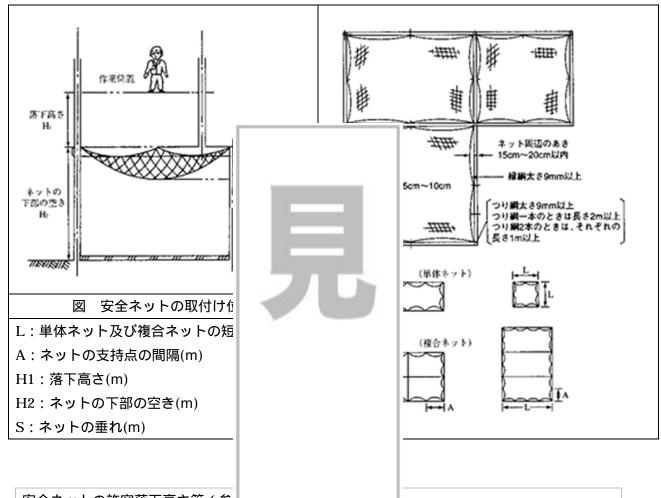
が 3 mをこえるものにあっては、 3 m 間隔ごとにつり綱を取りつけるものと







安全ネットの設置



安全ネットの許容落下高さ等(参				
区分	落下高さ(H1)以下)		
条件	単体ネット	複合ネ		
L < A	0.25(L+2A)	0.20(L		
L A	0.75L	0.6L		

₹(H2)(以上)	ネットの垂れ
複合ネット	(S)(以下)
0.95(L+3A)/4	0.25(L + 2A)/3
0.95L	0.75L/3

